



<東部療育センター メールマガジン 2009年6月号>
障害児（者）の方への情報提供を行い、生活支援を目指します。

発行 東京都立東部療育センター
<http://www.tobu-ryoiku.jp/>



6月に入り梅雨の季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？新型インフルエンザの感染のニュースもあり、今まで以上に健康管理に気を配られることも多いかと思えます。ご家族皆様で予防に努められ、健康に過ごしていただければと思います。今回は東部療育センターの放射線室の紹介をしつつ、CT撮影等の仕組みについての情報をお届けします。



<放射線室紹介>

薬剤検査科・放射線室より

1. 放射線室の紹介

当院の放射線撮影室はX線CT室・X線テレビ室・一般撮影室の3室から構成され放射線技師3名で運用しております。

電子カルテで運用されており、フィルムは使用せず、撮影された画像はサーバーに保管しています。そのため、外来・病棟に設置されたモニターによりリアルタイムで診ることができます。

2. CT装置 (computed tomography)

CTはX線を利用して人体の輪切り（横断像）を画像化する装置です。撮影された画像データを利用して再構成することで冠状断・矢状断の画像を得ることができます。

リンゴをテーブルに置いた状態を想像して見て下さい。

枝の付いている方を上にして包丁でそのリンゴを切ってみますが、枝の付いている方が人間でいうと頭の方向とってください。包丁は水平にして半分に切ります。

その切断面を見ると種が入っている所、皮の厚さや身の厚さなどが見えます。

このようにX線を利用して身体に負担なくリンゴの切断面のような写真を撮ったものが横断面像です。

冠状断面とはリンゴをそのままにして包丁を自分と平行にして上から下に切っていきます。この状態で見える断面を冠状断面像といいます。

矢状断面とはリンゴはそのまま、先ほどの冠状断面と90度垂直の位置からリンゴを切った状態で中身を見た断面を矢状断面像といいます。

このようにCTでは撮影後、再構成をすることにより、色々な角度で表示することができ、3次元画像の作成も可能です。

また、今年の4月より新たに内臓脂肪、皮下脂肪の測定も可能となり利用者の健康管理などに役立てればと思っています。

3. X線テレビ撮影室

X線テレビ撮影室は造影剤（バリウムなど）を使った検査、主にM-チューブ、EDチューブ等の交換、PHモニタの挿入などの検査に使用します。造影剤を使用することにより、食堂に逆流しないか、胃や十二指腸までチューブが正確に挿入されているか、摂食嚥下の評価などの診断に利用されています。

この部屋では、X線を利用しながら検査を行いますので、検査時間も20分～30分かかってしまいますが、検査中は必ず医師が近くにいますので安心して検査を受けていただきたいと思います。

4. 一般撮影装置

一般撮影装置は胸部・腹部及び全身骨の角度を変えて撮影しています。角度を変えて撮影することで、より具体的に体内の様子を把握することができます。

骨折はもちろんのこと、股関節脱臼、側わんの評価、胸部・腹部では肺炎や急性腹症の診断に役立てられています。

5. 撮影室の雰囲気作り

放射線装置は大型の物なので部屋に入って来た時には、装置を見ただけでも恐怖心を抱く方がほとんどです。

開設時には少しでも恐怖心を与えない様にとの思いから部屋の雰囲気作りに心掛けました。

各部屋に水族館・遊園地・動物園などのテーマをもうけ、壁の2面に幅120cmの帯状のシールを貼りました。

CT装置本体にはバスなどに張っているラッピングを採用し、水族館をイメージして魚を描いたものを本体に貼っており少しでも恐怖心を与えない様に工夫しました。どの撮影室でも雰囲気を和らげるよう趣向を凝らしております。

6. 撮影時の注意点

当院では「息を吸って・止めてください」「動かないでください」と声掛けしても協力が得られない方々がほとんどです。

CTを撮影する場合は寝台に寝てもらいますので動きの多い方以外は比較的容易に撮影ができます。一般撮影で動きの多い方などについては我々技師が入り押さえて短時間撮影をするか、家族の方にも協力をしてもらい撮影する場合もしばしばあります。

撮影後の写真として動きのない写真が目的フィルムサイズ内にきちんと入っていることと診断ができるコントラストを有していることに注意を払っております。

放射線検査すべてに共通することですが、私たち放射線技師は、患者さんの状況を察知、確認しながら撮影を行っています。ちょっとした顔の表情や仕草、車椅子の形状、付き添い

の方からの情報から推察しながら痛みや辛い状況を少しでも少なくした状態で撮影できるように心がけています。

検査前の見学なども可能ですので、気軽に技師に声をかけてください。



今回の放射線室についての情報はいかがでしたか？東部療育センターをご利用の方は勿論ですが、他の医療機関をご利用の方もこの情報を参考に放射線技師の方と無理のない撮影についてご相談してみてください。



-
- ◆このメールは msw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。
 - ◆送信アドレスは配信専用です。お問い合わせお手続きは下記よりお願いします。
-

東部療育センターメールマガジン

発行：東京都立東部療育センター <http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先：<https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂 3-3-25

- 配信をご不要の方は、下記URLにアクセスして下さい

<http://www.tobu-ryoiku.jp/info/mailmagazine.html>

Copyright (C) 東部療育センター All Rights Reserved.